

特別支援と学級経営のための 教育カウンセリング



名城大学 曾山和彦

2010.12.19

よりよい学級経営は よりよい特別支援教育を生む

- 居心地のよい学級づくりがなされれば、気になる子が溶け込む
- 保護者との関係づくりがなされれば、気になる子の問題は火だねとならない

2

学級経営とは

- 学級担任が学習指導と生徒指導の両面にわたり、その教育機能を十分に発揮できるように、学級における様々な条件整備を行うこと(吉田・大森)

学級担任制(小)であれ、教科担任制(中、高)であれ、学級担任は必ず**学級経営**に携わることになる。

3

学級担任が行う条件整備とは

1. 学級目標づくり
2. **学級づくり**
3. 教室環境づくり
4. **保護者との関係づくり**
5. 地域との関係づくり
6. 学級事務



4

学級づくりの基礎・基本

~どの子にも居場所となる学級づくり~



□ ルールづくり

ラポールとの違いは？

□ ふれあい(リレーション)づくり

プラグマティズム(実用主義)の薦め

- ・**使えるもの**は何でも使え
- ・**役に立つ知識**こそ真の知識

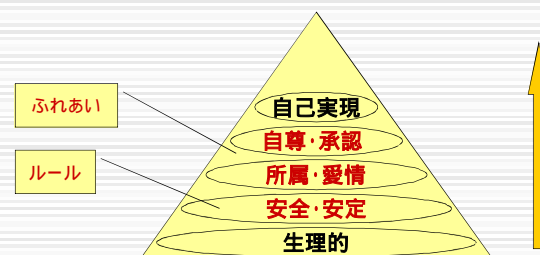
教育のプロとして腕の見せどころ(私ならばエンカウンター等)

5

マズローの欲求階層説

参考

- 第一欲求(生理的)が満たされると、第二欲求(安全・安定)が生じ、これも充足されると第三欲求へ進む。上位欲求は下位欲求がたとえ部分的にせよ満たされて初めて発生する



かかわり不足の子どもたち

- 環境の変化
- 情報化、スピード化
 - 三間(時間、空間、仲間)の消失
 - 核家族化 等

昔に比べ、人とのかかわり不足の子どもたち

子どもに限らず、大人も

7

人とのかかわり不足が生む問題1

- 子どもたちの社会性が弱まっている

ソーシャルスキル
(人づきあいのコツ、技術)

2極化した行動
相手を消す(いじめ)か、自分が消える(不登校)

通常学級における「気になる子」の問題がクローズアップ⁸

人とのかかわり不足が生む問題2

- 子どもたちの自尊心が低下している

Self-esteem

自己評価の感情。自分自身を価値あるものとする感覚であり、他者(身近な大人、友人等)評価により育まれる

自分自身のみならず、他者の受け入れも困難

これもいじめ、不登校、気になる子の問題に関係⁹

9

現代の子ども像と支援の基本方針

「ソーシャルスキル」、「自尊心」が落ち込んでいるのではないか

「人は人の中で人になる」
～人はかかわりの中で癒され、育つ～

対人関係のコツ(技)を身につけ、自分に「OK!」
と言えるよう、グループ体験等を活用する

気になる子にはより機会を捉えて¹⁰

10

学級づくりに活かす教育カウンセリング ～気になる子が在籍する学級実践～

- ・命令ゲーム
- ・伝え私のおかげ
- ・パソコン貯金
- ・四面鏡～そうじ編
- ・二者択一

SST & SGE活用 全国のお薦め実践

11

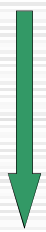
SSTの理論ベース;行動理論 ～道具的条件付け～

- 道具的(オペラント)条件付け(試行錯誤理論); オペラントとは特定の誘発刺激がなくても自発する反応。オペラント行動に強化刺激(えさ)を随伴させ、その反応頻度を変容させる過程。ソーンダイクの猫、スキナーのネズミを使ったバー押し実験が有名。条件反応(えさにより頻度が上がるバー押し)が条件づけの道具となっていることから「道具的」の名がある。

12

SSTの展開

してみせて、言って聞かせて、させてみて、褒めてやらねば、人は動かじ(山本五十六の言葉)



インストラクション

モデリング

リハーサル

フィードバック

保護者との関係づくりに活かす 教育カウンセリング

- ・基本5技法
- ・非言語表現
- ・ジョイニング

基本は傾聴 「あの人が頷くだけで出る勇氣」

14

カウンセリングの基本5技法

受容;相手の気持ちを受け止める

繰り返し;枝葉を落とし、幹の部分を繰り返す

明確化;相手の気持ちを察する

支持;「よくぞ言ってくれた」という言葉を

質問;「よくぞ尋ねてくれた」という質問を

基礎技法のプラスα;非言語的表現

- 視線、表情、ジェスチャー
- 声の質・量
- 座り方
- 言葉づかい
- 熱意
- 間
- 容姿・姿勢・服装

使える! ジョイニング

基本技法を組み合わせ、相手の価値観等に
波長を合わせる

そんなに落ち込まないで、ポジティブに考えよう!!

失敗例

そう思えたら相談に来てないわよ



「助言」は難しい!?



17

ロールプレイの意義

何故、ロールプレイを行うのか



ロールプレイは「道場の竹刀稽古」。本番で斬らない、斬られないために稽古を積む
(河合、1998)

18

ロールプレイへの「下準備」

演習;「そうですね」

* 相づちの練習をしてみましょう。

演習;「上手な頼み方」(基本)

- A お願いする
- B 理由をつけて断る
- A 再度お願いする(理由をクリアする代案で)
- B 了承する
- A ありがとう、助かった等

20

演習;「上手な頼み方」(応用)

- A お願いする
- B 理由をつけて断る
- A 相手の思いも大事にしつつ繰り返しお願いする(複数代案)
- B 了承する(2分の合図を聞いたら)
- A ありがとう、助かった等

21

演習;「上手な断り方」(基本)

- A お願いする
- B 理由をつけて断る
- A 了承する
- B 配慮の言葉をかける(次は、今度は)

22

演習;「上手な断り方」(応用)

- A お願いする
- B 理由をつけて断る
- A 繰り返して、お願いする(複数代案)
- B 相手の思いも大事にしつつ断る
- A 了承する(2分の合図を聞いたら)
- B 配慮の言葉をかける(次は、今度は)

23

教育相談、カウンセリング 全ての理論、技法を超えた基礎・基本

傾聴

- 言葉の応答に限らず、身体全体、心も併せて聴けたか(言語及び非言語的コミュニケーションはどうだったか)
- 相手の話を取ってしまわなかったか
- ジョイニング(波長合わせ)ができたか

鏡になる

24

傾聴の意義

- クライエントの言葉を鏡になって返すことにより、クライエント自身の自己対話が始まる。
- アメリカの心理実験。カウンセラーの技量、技法に関係なく、クライエントが治るときにはカウンセリング場面で必ず「沈黙」がある。

25

お互いに気をつけましょう！

保護者の元気を奪う「3つの助言」

先生、私はどうしたらいいでしょうか？

助言1: 「とにかく前向きに考えませんか」
(それができれば相談に来ないわよ)

助言2: 「 してみてください」で悩み解決
(次も困ったら先生に助けてもらえるわ)

助言3: 「 してみてください」で悩み未解決
(専門家のくせに何の役にも立たないわ)

26

お互いに心がけましょう！

保護者の元気を育む「3つの対応」

とにかく、話を聴く～基本5技法(受容、繰り返し、明確化、支持、質問)の活用～
「あの人が頷くだけで出る勇氣」

正論をぶつけない～「でもね」に注意～
「わかっているけど、あなたに言われたくない」

引き分けを目指す～勝たず、負けず～
「第3の道を探す」

27

主な参考・引用文献

- 「カウンセリング入門」、河合隼雄、創元社
- 「指導援助に役立つスクールカウンセリング・ワークブック」、黒沢幸子、金子書房
- 「時々、“オニの心”が出る子どもにアプローチ 学校がするソーシャルスキル・トレーニング」、曾山和彦、明治図書
- 「子ども集団が動く学級づくり」、曾山和彦編、教育開発研究所(2月下旬発刊予定)

「学校におけるカウンセリングを考える会」資料
<http://www.pat.hi-ho.ne.jp/soyama>

28